

令和7年度 小学部 教育計画

児童一人一人の発達に応じて、資質・能力をのびやかに発揮できるように以下の目標をおく。

1 教育目標

(1) 準ずる教育課程

- ・生活リズムや生活習慣を整える力を付け、健やかな身体と豊かな心を養う。
- ・意欲的に学ぶ力、行動する力を育て、学年相応の学力を身に付けることを目指す。
- ・集団の中で自分の立場や役割を理解し、自己を表現する力を高める。
- ・様々な経験を通して、地域社会の中で生活する基盤を築く。

(2) 知的障害を併せ有する児童の教育課程

- ・生活リズムや生活習慣を整えて、健やかな身体と豊かな心を養う。
- ・意欲的に学ぶ力、行動する力を育て、基礎的な学力を身に付ける。
- ・集団の中で自分の気持ちや要求を表現し、人と関わる力を伸ばす。
- ・様々な経験を通して、地域社会の中で生活する基盤を築く。

(3) 自立活動を主とする教育課程

- ・生活リズムや生活習慣を整えて、健やかな身体と豊かな心を養う。
- ・意欲的に見る力、聞く力、学ぶ力を身に付ける。
- ・身近な大人に対して自分の気持ちや要求を表現し、人と関わる力を伸ばす。
- ・様々な経験を通して、地域社会の中で生活する基盤を築く。

2 基本方針

(1) 初めての学校生活を安心して学び、楽しく過ごすために

- ・教員との確かな信頼関係を築く。
- ・各児童の自己表現を丁寧を受け止め、更に伸ばしていくようにする。
- ・安全に留意し、学習環境を整える。

(2) 学校生活を健康におくるために

- ・各児童の心身の状態を正しく把握し、健康の維持・増進に努める。
- ・生活のリズムを付けるよう、家庭との連携に努める。
- ・基本的生活習慣の確立を目指す。

(3) 児童の実態や課題を的確に把握し、それぞれの課題を達成するために

- ・学校生活支援シートと個別指導計画を作成し、保護者や就学前諸機関、医療、福祉諸機関との協力、連携に努める。
- ・個々の障害の状態や課題に応じた集団を編成する。
- ・児童の興味・関心をより高めるために、指導内容、指導形態、教材等について創意工夫する。
- ・保健室スタッフや自立活動担当教員、学校介護職員との連携を密にする。

3 学習指導（学習形態）

(1) 学級での指導

- ・発達の課題に応じてきめ細かい指導を行う。
- ・朝の会、帰りの会を行う。

(2) 学年での指導

- ・同学年の児童同士が、相互の理解を深め、思いやりの心や好ましい人間関係を育てる。
- ・給食指導（摂食指導）、学級活動、自立活動（生活）の学習を行う。

(3) グループでの指導

- ・一人一人の障害の状態、興味・関心、発達課題に応じた指導を行うため、また活発な集団活動が行われるようにグループを編成する。
- ・小学部の児童を低学年（1～3年生）と高学年（4～6年）の2つに分けて、児童の発達課題に応じたグループを編成し、指導にあたる。
- ・「自立活動＜時間の指導＞」は、グループの体制で行う。

4 特色ある学習

(1) 学部集会

- ・学部全体の関わりや他学年との交流をねらいとして、小学部集会を設定する。
- ・「1年生を迎える会」「音楽集会」「6年生を送る会」を行う。

(2) 交流教育

- ・練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園と、学年ごとに年間3～4回の学年・クラス交流を計画・実施する。

(3) クラブ活動

- ・4年生以上の児童を対象に、年10回程クラブ活動を実施する。
- ・おんがくクラブ、うんどうクラブの2つのクラブに分かれて活動する。